

## 編 集 後 記

初めての歯学部ニュース編集と初めての編集委員長ということで要領を得ないまま作業にあたりました。ご多忙中に御執筆をいただきました教職員、学生の皆様、また、偶然私の周囲に居合わせたがために編集作業を手伝うはめになった多数の先生方に改めて心より感謝を申し上げます。歯学部ニュースから普段あまり知る機会のないような学部・病院、学生・教員の活動の様子も知ることができます。特に学生にとっては普段接することのできない先生方のとっても貴重な経験、活動を知る良い機会であり、自分の将来を考える参考になればと思います。本号を読むと改めて新潟大学歯学部の恵まれた環境と高いアクティビティーが伺えるのではないのでしょうか。

超域研究機構 多部田康一

編集委員の仕事は今回が初めてです。主に新入の学生さんが対象だったおかげで、スムーズに原稿を集めることができました。私も最初はまじめにやろうって思っていたことを思い出し、初心に帰ることができました。念のため書いておきますが今はまじめにやっていないという意味ではありません。執筆者選抜の相談にご協力いただいた学務の方や口腔生命福祉学科の先生方、快く寄稿を承諾してくださり、締め切りを守ってくださった執筆者の方々、本当にありがとうございました。素晴らしい歯学部ニュースができました。

生体歯科補綴学 岡田 直人

2010年9月16日にこの原稿を書いています。7月のIADR前に編集委員を仰せつかり、メールや学内便でのやりとりを駆使しながらやっともうすぐ発刊までとなりました。本誌では、講座・新任教授紹介・受賞報告・総合診療室関連などを担当しましたが、ご多忙中原稿をお寄せくださった方、また編集委員の各先生本当にご苦労様でした。いつもは、愛読者の立場でしたがいざ編集となるとその有り難さが大変よくわかりました。今年度中に(?) 2号も出る予定ですが、皆様のご協力をお願いいたします。紙媒体の情報ツールが減少しつつある中、歯学部ニュースのますますの発展を祈って編集後記といたします。

歯周診断再建学 久保田健彦

今回、平成22年歯学部ニュース第1号の編集委員の話頂き、教員になると1度はずいてくるdutyのひとつということもあり、早めにさせていただいたほうがいかなと考へまして受けさせていただきました。編集委員長の高部田先生のご配慮でしょうか、比較的原稿を回収しやすい新任教官の紹介である「素顔拝見」と海外の学会報告の2項目を担当いたしました。海外の学会報告については、私が個人的にお願いしやすい先生を選択させていただきました。原稿を依頼させていただいた先生各位からはお忙しい中、快く寄稿していただきありがとうございます。ご協力深く感謝いたします。

口腔再建外科学 高田 佳之

歯学部ニュースの編集委員の仕事今回初めてさせていただきました。主に学生さんの原稿集めを担当したのですが、夏休み前という、原稿を集める側には非常に心配な時期だったにも関わらず、皆さん真面目に原稿を提出して下さいました。また、口腔生命福祉学科の学生さんへの連絡を、八木先生にご協力いただきました。編集委員ではないのに快く引き受けて下さり、ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

予防歯科学 金子 昇